

当社のマンション向け戸別太陽光発電システム「ene SOLAR ココエコ」が平成23年度「新エネ大賞」新エネルギー財団会長賞を受賞

記者各位

当社(社長:木村 康)が2010年10月に新発売した、マンション向け戸別太陽光発電システム「ene SOLAR ココエコ」が、財団法人新エネルギー財団が主催する、平成23年度「新エネ大賞」において、新エネルギー財団会長賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

新エネ大賞とは、新エネルギー等に係る機器の開発、設備等の導入および普及啓発の取り組みの表彰を通じて、新エネルギー等の導入の促進を図ることを目的としているものです。今回は38件の応募の中から、学識経験者等で構成される「新エネ大賞審査委員会」による厳正な審査の結果、当社の「ene SOLAR ココエコ」が新エネルギー財団会長賞に選出されました。

「ene SOLAR ココエコ」は、当社が開発^(※1)したパワーコンディショナ^(※2)を用いることで、マンション 各戸ごとに太陽光発電を可能としたものです。本システムの導入により、各戸ごとに太陽電池モジュールが割り当てられるので、戸建ユーザーと同様に、マンションユーザーも太陽光発電による余剰電力の10年固定価格買取制度を利用することが可能^(※3)となり、各家庭において電力を節約した分のメリットを享受することができます。

当社は、総合エネルギー企業として、「省エネ」「再エネ」「自立」をキーワードとする「ENEOS創エネ事業」を推進し、自立・分散型エネルギー社会の実現に貢献して参ります。

※1 三洋電機株式会社との共同開発品。

※2 パワーコンディショナは、太陽電池モジュールで作られた直流電力を家庭で使える交流電力に変換するための装置。安全のため、系統電源停電時にシステムを停止させる機能も有している。

※3 マンショントータルで数百kWになる場合でも、各戸が10kW未満であれば、居住者に対しては太陽光発電による余剰電力買取制度が適用される。

以上

● 別添資料

 「eneSOLAR ココエコ」の概要 (PDF:260.9 KB/2ページ)